

六甲カトリック教会 教会報



神父の一日

主任司祭 英 隆一朗 s. j.

時々どのような生活をしているのか聞かれることがあるので、今回は簡単に説明したい。

朝はだいたい5時30分起床で、神戸に来てからは5時46分に自然災害の犠牲になった方々を思い出し、自然災害や武力紛争からいのちが守られるように短い祈りをささげている。6時に教会の門を開け、7時まで1時間の黙想する（毎日1時間の黙想をするのがイエズス会員の義務）。7時から朝のミサをささげる。

朝食を食べ、身の回りの片付けなどをする。余裕がある時は、朝の黙想をふりかえり、その実りをSNSで発信している（ブログ・Facebook・インスタ・旧Twitterで。興味のある方は、「福音お休み処」で検索してください）。朝の祈りを唱えて、9時くらいから仕事を始める。午前中は本当は執筆活動に時間をとりたいが、実際はメールの返信や突然の面会や電話など、もろもろの雑用で終わることが多い。メールが山のようにたまって、ひたすら返信メールを書いていることも多い。昼食をとり少し休憩して昼の祈りと究明（反省）をしてから、午後の仕事は主に個人的な面会や訪問に時間を使うようにしている。高齢の方が多いので、病者の塗油を授けに行くことが多い。実際は講座や会議が頻繁に入り、しばしば帰天された信徒のために葬儀ミサをささげている。また、大阪の釜ヶ崎の施設の責任者もしているので、そちらに訪問することも多い。結局夜遅くまで仕事して、疲労困憊していることが多い。

夜に何も無い時は、18時30分から夕食をとるように心がけている。今はコックさんがいないので、自分で適当に作って、適当に食べている。新聞の将棋欄に目を通したり（藤井聡太のファン）、阪神タイガースのナイター中継をちょっと見ているうちに、よい時間になってしまう。21時から夜の祈りに入るようにしている。晩の祈りを唱え、1日の活動を究明（反省）して心を整理して、翌朝の黙想とミサのために、聖書を読んで、黙想の要点を準備する時をもつ。そして、22時には就寝するように心がけている。

毎日かなり忙しく、すぐに疲れてしまい、なかなか余裕がない。それでも、週1日は聖書の安息日になって、仕事をしない1日を作っている（今は火曜日）。なるべく孤独に身をおき、疲れた神経をいやすようにしている。散歩したり、美術展や映画を見に行ったり、興味ある本をじっくり読んだりしている。ゆっくりと祈りの時間をとり、神との親密な交わりの時をもっている。

司祭の生活の根本は神の恵みに支えられる。司牧活動や宣教活動をしていて、何かしら霊的実りがあると思えることがある。でも、それは自分の努力ではなく、純粹な神の恵みで与えられていると痛感する。人間の努力と霊的実りは全く比例していないからだ。ただ神の無償の恵みに感謝するだけである。感謝のことばを受けることがあるが、私に感謝する必要は全くない。恵みを与えてくださるのは、ただ神さまだけなので、神に感謝をささげるだけで十分だ。人間としての司祭にできることは、ただ神に祈りをささげるだけである。だからこそ、朝と夜に集中的に祈り、昼間でもロザリオの祈りなどをささげつつ、いつも神とともに歩むようにこころがけている。

バザー委員会議事録

日時：2024年10月20日（日）11：30～13：30

場所：第1、第2会議室

出席者：英主任司祭、渡辺助任司祭、バザー企画グループ、個人出店・ワークショップ責任者

1. 主任司祭挨拶

コロナ明けでバザーを再開したが、以前のように地区会の当番制で全員が実施するのは困難になって来た。バザーの新たな方式を2～3年かけて模索していく。強制的に実施するのではなく、やりたい人が主体として実施していく。グループによっては活動の紹介や信者以外の方も参加できる機会を作りたい。できることは実施するができないことは実施しない。大学の文化祭的要素（音楽ステージ等）も取り入れ、未信者の方を誘う形も考えたい。

2. 個人出店、ワークショップ紹介

個人出店、ワークショップ責任者が出店概要、ワークショップ内容を説明。

（ミニバザー出店リスト、個人出店応募状況配布。）

3. 決定事項

- 1) 出店責任者やワークショップ責任者は、スタッフ要員を責任者が確保するようにする。
（信者、未信者は問わない）
- 2) 軽食提供（イグナチオホール）
 - ・中高生会：手作りピザ 60 食
 - ・フレンチコネクション：ラザーニア・ガンボ 30 食
 - ・壮年会：ビール、ソフトドリンク、豚まん 60 食＋サンドウィッチ
 - ・コーヒー：地区役員とボランティア応募 1 名に協力依頼する。 1 杯 100 円。
- 3) パイプオルガン体験と主任司祭による教会案内ツアーは、開始 10 分前に案内放送を実施する。
- 4) 会計：川越明美
バザー開始時に会計担当が報告書を配布する。（2 枚ペア）バザー終了後直ちに報告書と現金を会計本部（2F 作業室）に提出する。支援団体に献金する場合は、献金額のみ報告する。
- 5) 「本のバトン」（古本屋）は、責任者が週報等に寄贈依頼を掲載して、古本を収集し売れ残りの本の処分等も責任者が行う。
- 6) 出店会場、ワークショップ会場の決定
 - ・出店会場、ワークショップ会場の決定後、各責任者は会場のレイアウトの打合せを行った。
 - ・出店責任者は、店の紹介や支援先を紹介するために各自宣伝用のポスターやチラシなどを作成し掲示板や壁を活用すること。（その際、使用するマジックインク、はさみ、養生用テープなどの文房具は各自用意しておくこと）
- 7) 売れ残りは、出展者各自が責任をもって処理する。

4. 献金先

現時点では、献金先は能登災害を考えているが、今後さらに大きな災害が発生した場合、献金先を変更することもある。

チラシ・ポスターには、「主な献金先：自然災害、紛争地域」と記載している。

5. チラシ配布

会議終了後、会議出席者が手分けして近隣へのチラシ配布を実施した。 以上

音楽チームから『典礼聖歌』『カトリック聖歌集』ご寄付のお願い

ご家庭に余っている『典礼聖歌』、『カトリック聖歌集』がありましたら、ご寄付をお願いいたします。聖堂入り口に箱を置いてありますので、お入れください。

《教会遠足 徳島教会へ》

10月19日（土）は恒例の教会遠足の日でした。英神父さまをはじめ、総勢36人が参加しました。雨模様の日でしたがなんとかお天気は保ちました。教会を9時前に出発、明石大橋を渡り淡路島を突き抜けて一路徳島へ。徳島教会（写真）には10時40分ごろ到着。つつましやかながらよく整った教会で、お庭にはマリア像や四国宣教の初代司牧教区長・アルバレス神父の記念碑などが立ち並んでいます。ミサのあとで20世紀初頭から始まる徳島教会の歴史を伺いました。また、信徒の皆さんからは大変なおもてなしを受け、お茶お菓子の接待、特産品の「すだち」までお土産にとご用意いただき恐縮しました。聖歌「あめのきさき」をみんなで歌ってお別れ、昼食会場のホテルサンシャイン徳島へ。豪華なお弁当に満腹しました。



徳島教会の皆さんと一緒に記念撮影

さて、午後は阿波おどり会館。阿波おどりの実演披露と観光客に踊りのレッスンをほどこしてくれるのです。「踊りは簡単な2拍子ワンツーワンツー、右手と右足を同時に前に、左手と左足も同様に前に。さあ、皆さん立って、立って一緒に、」とじょうずに促されホールのお客は総立ちで、どかどかと踊るさまは圧巻でした。

次に向かったのはハレルヤスイーツキッチン製菓工場見学。甘党にはこたえられないスイーツの種類に目移りしきり、皆さんお土産の数がさらに増えたのではないのでしょうか。16時に帰路に就き、渋滞もなく予定より少し早く帰ってきました。

お世話になった壮年会・小田さん、婦人会・藤井さんに厚く感謝申し上げます。

《「International Day」に参加して》

素晴らしい秋晴れの10月20日（日）、大阪高松大司教区カテドラルにおいて、International Dayが開催されました。

International Massには、お御堂の座席数を超えて壁際まで幾重にも人垣ができるほどで、立ったままミサに与る方も、多くおられました。

ミサの第一朗読/第二朗読/共同祈願/聖歌は、日本語や英語だけでなく、韓国語/中国語/スペイン語/ベトナム語など

も！また、この日の酒井俊弘補佐司教様のお説教は日本語だけでなく、新しい試みとして、QRコード読み取りで、他の言語を聴くことができるようにしたそうです。（当日のみ）。

ミサには、手話や要約筆記もありました。

そして、ミサの後は、お楽しみの交流会。多くの方が埋め尽くすカテドラルの駐車場では、ステージでの三味線/ダンス/歌など、さまざまなパフォーマンスに思わず見入ってしまいました。各小教区/同郷の方々/各種支援グループなどのたくさんの模擬店（写真）には各国料理や品物が所狭しと並び、飛び交う言葉もさまざまです。遠い異国からの方々には、母国語で大勢が一同に集まる大切な機会かもしれません。



28回を数えるこの行事は、祈りをとおして、国籍を超えた多くの人々との交流会となったことでしょう。来年は、皆さまも参加してみませんか？（三垣 恭子）

＝「病者・障がい者とともに歩むミサ」に与って＝

2024年9月23日、大阪高松大司教区カテドラル・聖マリア大聖堂において、「病者・障がい者とともに歩むミサ」がささげられました（写真）。今年で10回目、大阪教区と高松教区がひとつとなって初めての開催です。



前田万葉枢機卿の司式で始まるミサでは、第一朗読に、点字を読む力強い声が響き渡りました。今年も、福音朗読は、英隆一朗神父さまです。共同祈願では、障がい者、高齢者、それを支える人、ほかにもさまざまな立場からの祈りが読まれます。いつもより、ゆっくり進む(と感じる)ミサでは、言葉のひとつひとつがいつも以上に心に染み入ります。

このミサは、障がいのある人もない人も、病者もそうでない人も、共に「主の食卓」を囲むことを目指すものです。必要な情報が皆に届くように、点字の式次第/手話/要約筆記などが用意されています。当日のカテドラルでは、約150名の方々がミサに与りましたが、いろいろな理由で現地参加がむづかしい方のためには、Zoom配信やYouTubeの収録もあります。

六甲教会では毎月の手話付きミサやその後の交流会が行われています。病気や事故などの中途失聴や誰にでも起こりえる加齢による聞こえにくさなど、聴覚の課題だけでなく、いろいろな気付きをひとつずつ乗り越えて、共に主の食卓を囲める日が来ることを願っています。（三垣 恭子）

10月のミサ・黙想会



◇10月5日(土) イグナチオ・ロヨラの「靈操の基礎を学ぶ」第4回黙想会が英主任司祭の指導により行われました。冒頭、英神父は、「神と自分との関係」を見つめ、「神のめぐみ」を考える時間にしてほしいとされました。

第1講話で引用されたのはマタイ福音書(16:13-28)。メシアとしての使命と弟子の使命が語られている部分です。イエスは貧しく謙遜な方でした。そこで、あなたにとって「イエスは誰か」。信仰を深める中、パーソナルな関係の中でイエスさまは、兄や父のような、あるいは親友、恋人のような存在でしょうか。またどういう姿でしょうか。イエスさまが誰かがはっきりすれば、「自分は誰か」という考えも深まり、「自分の使命は何か」を問い直すに至るとされました。午前中に第1, 2講話と黙想、昼食をはさんで午後第3, 第4講話と黙想、最後は英神父の司式でミサがささげられ、終了となりました。



◇10月13, 14日 日本カトリック聴覚障害者の会(白柳 聡 会長)主催により、六甲カトリック教会で黙想会とごミサがささげられました。参加者は全部で29名。東は東京、横浜、名古屋、そしてここ神戸、さらに広島、長崎など8都府県から聴覚障害者の皆さんと健聴者が集いました。13日(日)は黙想会、14日(月)は英主任司祭の司式でごミサ。この両日、手話通訳に加えて、「要約筆記」がありました。



「要約筆記」とは、耳慣れない用語かもしれませんが、話された内容を聞き取り要約し、簡潔な文章としてあらわす行為を言います。聴覚障害のある皆さんにとっては、手話とともに大切なコミュニケーション手段の一つです。今回は、黙想会での講話、またごミサ中の司式の流れや歌の部分も、要約筆記によりモニターに映し出されました（写真）。

聴覚障害の人は健聴者と見分けがつかず、音による情報を得られない不自由さのあることに、なかなか理解が進みません。そのため、普段も緊急時でも周囲から適切な援助を受けにくい状況にあります。黙想会のあとの分かち合いでは、日常生活での生きづらさが語られました。一方でIT化が進み、以前は苦労したことが、今ではやりやすくなったという例も紹介されました。英神父はマタイ福音書から「何かを決めるとき、小さな者を基準に考え決めること」が大切だとし、また「迷い出た羊」のたとえから、「見失われた一匹に配慮するとき、100匹の羊に神の国が来る」とされ、障害をもつ人たちへの慈しみを示されました。

ミニチャリティーバザー

どなたでもご自由にお越しください

2024年11月10日(日) 10時ミサ後 11:15~15:15

場所 六甲カトリック教会

神戸市灘区赤松町 3-1-21 ☎(078) 851-2846



出店場所： 信徒会館（ロビーと2階）， イグナチオホール

- ・ 食料品（イタリア食材、手作りケーキ、パン、野菜など）
- ・ 衣料品、アクセサリー、手芸品、石けん、洗剤
- ・ 古本販売
- ・ 喫茶、軽食（ピザ、ラザニア、サンドウィッチなど）
- ・ ワークショップ オニヤンマ君作り(防虫グッズ)
- ・ オルガン体験【パイプオルガンを弾いてみよう！】12時 / 14時 主聖堂
- ・ 主任司祭の教会案内ツアー 12時 / 13時 / 14時 / 15時 聖堂前の庭に集合



収益金は全額チャリティー先に献金されます。

主な献金先: 自然災害、紛争地域支援

車でのご来場は、極力お控え下さい。

(所定の台数を超えた場合は駐車できません。)

バザー当日には、出店一覧とその配置図を配布します。教会入口でお受け取りください。

ミニバザー出店リスト

軽食	出店名	①フレンチコネクション 渡辺佐美夫	雑貨	出店名	⑭みわの店 今井美和子
	内容	ラザーニア、ガーリックブレッド、カンホ、ケーキ		内容	クリスマスグッズ、アクセサリー、小バッグ
	場所	イグナチオホール		場所	第2会議室 2F
食	出店名	②中高生会 渡辺徹郎助任司祭	洗剤	出店名	⑮かなの家 井川伸子
	内容	手づくりピザ		内容	石鹸、洗剤、小物雑貨、ケーキ菓子
	場所	イグナチオホール		場所	第3会議室 2F
食材	出店名	③壮年会 小田琢也	手芸品	出店名	⑯原町教会コンルディア支援 井川伸子
	内容	サンドイッチ、ビール、ソフトドリンク、豚まん		内容	原町教会制作手芸品
	場所	イグナチオホール		場所	第3会議室 2F
食材	出店名	④東条湖の家 藤原公子 中村節子	アロマ	出店名	⑰TON TON PAPI 梅崎春美
	内容	イタリア食材、手芸品		内容	アロマ、サッシュ、ワックス、キャンドル
	場所	信徒会館 1F		場所	第2会議室 2F
食材	出店名	⑤みほの野菜牧場 稲垣美穂	花器	出店名	⑱momo 角中美千代
	内容	季節の新鮮野菜、パネルのパン		内容	花器、花瓶、菓子器
	場所	イグナチオホール		場所	第4会議室 2F
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑥NPO AIC-Japan 神戸 小川香織	本	出店名	⑲本のバトン 吉村光基
	内容	自然農野菜、手作り品		内容	古本販売
	場所	イグナチオホール		場所	第4会議室 2F
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑦ともしび会 小坂田さち子	ゲーム	出店名	⑳教会学校 辻原 華
	内容	手づくりケーキ		内容	ゲームコーナー、保護者と子供の作品
	場所	イグナチオホール		場所	図書室 2F
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑧荒野の泉 金子淳子	ワークショップ	出店名	㉑オニヤマ君作り 斎藤節子
	内容	毛糸人形、パキスタン手芸		内容	オニヤマ君作り(防虫グッズ)作り
	場所	アンティークアクセサリー、雑貨		場所	信徒会館奥 1F
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑨六甲子供の里 蛭田和子	焼菓子	出店名	㉒主任司祭教会案内ツアー 英隆 一朗主任司祭
	内容	雑貨		内容	12:00～、13:00～、14:00～、15:00～
	場所	第1会議室 2F		場所	聖堂前庭に集合
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑩手芸グループ 北上千恵子	焼菓子	出店名	㉓音楽チーム 三浦優子
	内容	手芸品、クリスマスオーナメント		内容	パイプオルガン体験
	場所	第1会議室 2F		場所	聖堂12:00～、14:00～
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑪うりぼうシスターズ 仲本志のぶ	焼菓子	出店名	㉔子どもを持つ親の集まり 高橋恵美
	内容	フランス小物		内容	御受難修道会宝塚 小田マリ子
	場所	新品の服、アクセサリー		場所	焼菓子、ケーキ イグナチオホール
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑫出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㉕まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑬ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㉖まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑭出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㉗まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑮ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㉘まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑯出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㉙まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑰ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㉚まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑱出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㉛まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	⑳ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㉜まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉑出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㉝まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉒ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㉞まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉓出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㉟まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉔ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊱まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉕出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊲まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉖ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊳まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉗出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊴まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉘ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊵まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉙出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊶まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉚ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊷まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉛出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊸まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉜ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊹まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉝出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊺まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉞ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊻まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㉟出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊼まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊱ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊽まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊲出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊾まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊳ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊴出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊵ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊶出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊷ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊸出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊹ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊺出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊻ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊼出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊽ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊾出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊿ピエタ(師イエズス会) 川越明美	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、カレンダー、手帖		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	聖堂入口(風除け室)		場所	雑貨
小物・手芸品・雑貨・アクセサリー	出店名	㊿出会いの場 大倉史子	焼菓子	出店名	㊿まなぼっこ 井川伸子
	内容	雑貨、アクセサリー		内容	(フライビンの山岳地帯の子ども支援)
	場所	第1会議室 2F		場所	雑貨

出店内容は10月29日時点でのものです。
実際の内容は、当日配布の資料でご確認ください。

《イエズス会日本管区長 佐久間神父をお迎えして》



10月20日第29主日の10時ミサは、佐久間 勤イエズス会日本管区長の司式で行われました。

福音朗読はマルコ10:35-45で、二人の弟子がイエスさまの栄光の時、その左右に座らせてほしいと願い出たあの場面です。他の10人の弟子たちは、(その二人に出し抜かれるかと思い、)腹を立てたとあります。しかしイエスさまはそうした人間的な考えを嫌いました。“偉くなりたい者は皆に仕える者になり、いちばん上になりたい者はすべての人の僕になりなさい”と諭したことを、お説教でも繰り返されました。

佐久間神父は、この世のことにはいずれ終わるが、イエスの心を持つ者が永遠に残る、皆がキリストと一つになるのが世界の完成であるとされました。

佐久間神父は、62年前に六甲カトリック教会で受洗されました。神戸は、佐久間神父の故郷です。「故郷で受け入れられるか心配」と聖書を引用されつつ、会衆の笑いを誘いました。

《 防災セミナー 》

10月27日(日)ミサ後12時半から「防災セミナー」が開かれました。自然災害が頻繁に起きる最近の地球環境では、しっかりとした防災の知識と訓練が必要です。この日は壮年会会長の小田琢也さんが、スライドや各地域のハザードマップなどを揃えて、講師としてお話をして下さいました。小田さんは神戸市の水道局関連のお仕事に携わっておられて、災害関連のライフラインについては詳しい方です。お話は、災害にあたり避難するかどうかの判断と、避難所の場所とアクセスをしっかり認識しておくこと、スマホのヤフー画面から「天気・災害」と検索して最新の情報を得ることなどの知恵を教して下さいました。



神戸市は大震災の経験を経て防災関連の対策が進んでいるようで、津波は2メートルまでは安心、災害時でも使える「いつでも蛇口」という非常用水道蛇口設備が震災時より大幅に充実しているとの話もありました。また避難所に関してはA)緊急避難場所とB)避難所と区別され、A)はとにかくくまなく駆け込み出来る場所、B)は避難してしばらく滞在出来る場所という区切りで運用されます。救援物資の配布などは全く平等に行われます。ご自身からみて一番手近な避難場所を選択することです。ここは入れないという避難所はありません。

神戸市として身近な災害で怖いのは土砂災害です。斜面、坂道が多く大小の川もあるので、大雨には注意が肝要です。神戸市消防局の方も来られ、参加者はバーチャルリアリティ眼鏡を覗いて、水害、火災、地震などを感じ、そして最後に「地震体験車・ゆれるん」(写真)に乗って震度6強の猛烈な揺れを体験しました。(広報部 詫 洋一)

社会活動部 今月の予定

11月6日(水)10時 手芸の集い 第1、第2会議室

11月15日(金)9時半 ともしび会 教会台所

- ・(児童養護施設の子もたちへのケーキ作り)
 - ・ケーキ作りに興味あるかたはぜひご参加下さい。
- 申込不要です。写真は10月のりんごケーキ。

★炊き出しは バザー前日のため、11月はお休みです。



私の好きな聖書のことば

「思い悩むな」 マタイによる福音書 6章



マリア・グラツィア 武藤亜紀子

「あれをしなきゃなあ。こうすればよかったかも。うまくいくかなあ。」体は疲れているのにいろいろな思いが押し寄せてきて寝付けないことがよくあります。そんな時に目にとると落ち着く聖書の言葉です。

カトリックと出会い40年の歳月を経て、今年の復活祭に受洗しました。高校生の時に恩師の葬儀ミサにあずかり、強い痛みとの闘いの末亡くなられて深い悲しみの中にありながら、死は怖いものではないと思える雰囲気だったのが印象的でした。

その後はたまに思い出すぐらいでカトリックの教えからはすっかり離れてしまっていました。数年前、子育てしながら仕事に復帰するかどうかの悩みからストレスでいっぱいになり、人生を見つめ直さざるを得ない事態に直面しました。少しずつ元気が戻ってきた頃、昔のことを思い出して教会に行ってみようと思い立ったのです。一人ではなかなか足が向かなかったかもしれませんが、偶然にも同伴してくださる方との出会いもありました。昔聞いた聖書の言葉もほとんど覚えていないような、こんな私にも神様ははからってくださっていたとは！

思い悩まなくても必要なことは全て神様が用意してくださるといふ安心感と、大きな恵みに感謝して日々過ごしたいと思います。

ハラスメント調査対策委員会の設置について 六甲教会ハラスメント調査対策委員会

教会報10月号掲載の第3回小教区評議会議事録において、『六甲教会ハラスメント防止対策規定（以下防止規定と略す）』が承認され、主任司祭によって『六甲教会ハラスメント調査対策委員会（以下委員会と略す）』が設置されました。

メンバーは、英主任司祭以下、宗行孝之介（委員長、前・小教区議長）、堤福生（現・小教区議長）、吉村千里（教会学校リーダー）、赤木潤子（学識者信徒）の4名で構成されます。

これに伴い10月6日に第1回委員会を開き、防止規定および委員会規定を主に法的側面から検討しました。その際、これらの規定の根拠規定、および位置づけ等について改めて検討の必要が出てきたことから、当初予定の10月1日の規定施行はいったん見送りとしました。

当委員会は、改訂規定を作成し、研修会の実施と相談窓口の設置を、2024年度内に行う予定です。

クリスマス チャリティーコンサート

日時：12月7日（土）12:30 開場 13:00 開演

場所：カトリック神戸中央教会 主聖堂 入場無料

主催：神戸地区社会活動委員会（シナピス神戸）

- ・野宿者、生活困窮者のために活動されているカトリック社会活動神戸センター支援のためのチャリティーコンサートです。

（入場料無料、支援カンパにご協力ください。）

- ・出演者はボランティアの皆さまで、プログラムは、ジャズやカントリー、ピアノソロと盛りだくさん。司祭バンド「Amens（アーメンズ）」によるクリスマスソングの演奏もあります。六甲カトリック教会からは英神父、渡辺神父も参加されます。



ヴァイオリン・トロンボーンの調べ

10月27日（日）、ごミサのあと、引き続きご聖堂で、バイオリン奏者の杏仁子・カタリーナ・サットマリーさんと、トロンボーン奏者のフランク・サットマリー・フィリピッチュさんのドイツ人ご夫婦による素晴らしいコンサートが行われました。



杏仁子さんは、8年前に帰天された日本人の母の故郷である神戸の地で、母への感謝を込めて演奏したいと、マンハイムから来日されました。会場には杏仁子さんの親戚の方や、昔のお友達も駆けつけ、再会を喜び合いました。

「家族を失って寂しい思いをしている方々も一緒に演奏を聞きながら、故人への思いと感謝の気持ちを味わっていただけたら嬉しい」というメッセージを会場の皆さんにお伝えしてから演奏が始まりました。バイオリンの澄み渡った清らかな音と、トランペットの神々しい響きが聖堂いっぱいになり、バッハの「G線上のアリア」や、「主よ、人の望みの喜びを」などいくつかの名曲が演奏され、まさに天上の世界にいるような至福の時を味わえました。あまりの音色の美しさに魅了された会衆からは、最後の演奏のあと、ドイツ語でZUGABE！（ツォーガーベ）と叫びながら手拍子でアンコールがあり、フランツ・シューベルトの「楽に寄す」が奏でられ、演奏会は幕を閉じました。（井川 伸子）

周年事業プロジェクトチームからのお願い

80周年記念誌に、あなたの思い出の写真・資料・原稿等を大募集！

六甲カトリック教会は、2028年12月8日に創立80周年を迎えます。周年事業プロジェクトチームでは、記念誌制作・発行に向けて、現時点より信徒のみならず、思い出の写真・資料（過去の印刷物等）のご提供や原稿（ご寄稿）をお願いしたいと考えています。

◎原稿は、たとえば次のようなテーマでご執筆ください。（500字～1,000字程度）でお願いします。最終締切りは、2025年度中（2026年3月）を予定しています。

- ・歴代司祭や所属信徒のいろいろな思い出
- ・阪神淡路大震災と六甲教会
- ・新聖堂建設
- ・これからの六甲教会 等。

◎当教会は50周年記念誌を1998年に発行していますので、それ以降のことであれば、上記に限らず、どのようなテーマでご執筆いただいても結構です。

◎写真は内容がわかるように、撮影年月日・場所・行事名・写っている人物等の説明をつけていただきますようお願いいたします。（ご提供者のお名前もお知らせください。）

◎写真はプリントしたもの、デジタルデータのどちらの形式でも結構です。プリントしたものは教会事務室へ、データの場合は以下のアドレスまで電子メールでご提出ください。

rokkocatholicsns@rokko-catholic.jp

◎プリントの写真や資料の返却を希望される場合は、ご提出の際に必ずお申し出くださいますようお願いいたします。1カ月程度で返却させていただく予定です。

なお、制作の都合上、原稿の採否は周年事業プロジェクトチームが決定します。

【2024年11月行事予定表】

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
					諸聖人 ミサ 7:00 10:30 聖体顕示 10:00 ◎東灘北2・芦屋	死者の日ミサ 7:00 10:00 ミニコンサート 10:00 ミサ後
3	4	5	6	7	8	9
年間第31主日 手話付きミサ 10:00 秋の墓参	教会事務休み (振替休日)				◎東灘南	ラテラン教会の 献堂 教会学校休み
10	11	12	13	14	15	16
年間第32主日 ミニチャリティー バザー 11:15～						
17	18	19	20	21	22	23
年間第33主日 七五三祝福 10時ミサ中 小教区評議会 11:30 子どもとともに 捧げるミサ 10:00	<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; background-color: #e0e0e0;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ 貧しい人のための 世界祈願日 ・ 聖書週間 (～24日) </div>		三日月会 例会		◎定期清掃	教会学校休み
24	25	26	27	28	29	30
王であるキリスト 世界青年の日 クリスマスの飾付け 10時ミサ後						聖アンデレ使徒 ◎教会大掃除 9:00～ 地区役員会 大掃除後

◎印は掃除当番地区 (午前7時時点で気象警報が発表された場合は中止)

【編集後記】教会80周年記念誌制作プロジェクトチームが始動しました。制作には信徒の皆さまからのご協力が不可欠です。思い出の写真や原稿のご提供をぜひお願いします。なお、「50周年記念誌」を教会ホームページに掲載しました。なつかしい思い出の頁が見つかるかもしれません。(N.O.) ver1.3

<p>次回12月号の発行は11月30日(土)です。原稿は毎月15日ごろまでに、教会受付へご持参いただくか、FAX、メールでお願いします。 (renraku@rokko-catholic.jp) 皆さまからのご寄稿をお待ちしています。 ・教会SNSチームは、フェイスブック、インスタグラム、X(旧ツイッター)、YouTubeチャンネルで配信しています。「六甲カトリック教会」で検索してみてください。</p>	<p>六甲カトリック教会 〒657-0061 神戸市灘区赤松町3-1-21 電話 078-851-2846 FAX 078-851-9023 http://www.rokko-catholic.jp 発行責任者 英 隆一朗 編集 広報部</p>
---	--